

全国的青年連絡組織 臨時総会 議事要録

日時：2016年2月27日(土) 14:15～15:15

場所：渋谷区文化総合センター大和田 男女平等・ダイバーシティセンター(アイリス)

開会のあいさつ・総会成立宣言

規約第12条4項 総会開会要件を満たし、総会成立

議長の選出

規約第12条3項に基づき、小崎好美会長を議長に選出

⇒ 承認

議事進行の確認

記録：浦崎笑子(全青連・水戸ユ協)

議事録署名人：石川さやか(全青連監事・名古屋ユ協)

⇒ 承認

録音、撮影の許可

第一号議案 全国的青年連絡組織規約改正および諸規定の整備について

資料1-1 規約改正のポイント、資料1-2、資料1-3、資料1-4 説明

⇒ 可決・承認

第二号議案 青年声明

資料2-1、2-2 説明

日本ユネスコ協会連盟の会長や理事長だけでなく、地域のユ協やユネスコクラブへ対しても提示する予定。

【質疑応答】

・内容自体は今までは声明と言いつつ要望だった。今回は声明として出すのか？また、これまで協会連盟の会長と理事長だけに送っていたが、地域の人たちになぜ出すのか。内容はあくまでも会長宛てで、地域の人たちにも読んで欲しいということなのか？

→ 前回も各位という形を出しており、宛先は会長と理事長ではなかったはず。努力すべきは協会連盟だけでなく、全青連も努力が必要であるし、青年会員、地域の大人の方々にも協力してもらう必要がある。ただし地域の人に見てもらう方法については昨年度どうしたかなど、これから相談したい。まず会長と理事長には送る。青年声明の中には要望もあるし、これからこのように頑張っていきたいとか、今こういうことに困っていますという文章もあるので、青年の声明、青年からの意見として出したい。

・内容はこれでいいと思うが、もっと簡潔に書かないと読んでもらえないのもっと簡潔に横文字カタカナはなくした方がいいと思う。

- みんなの意見を網羅しようとして長くなっているが、なるべく短くまとめたい。
- ⇒ 可決・承認

その他

2016年度ネットワーク強化に関する特別会計予算について

パワーポイントにて説明

【質疑応答】

- ・1年単位で簡単にネットワークができると思っていない。予算が協会連盟の助成金ありきで考えられており、そのうち70万円くらいが交通費になっているが、この先も助成金はいただけなのか。今回限りで会いに行くことを終えてしまえば、人も変わるのでネットワークも何の意味もなくなってしまうと思うので、助成金継続の話をされているのか教えてほしい。
- 交通費メインになっていることは協会連盟からも指摘を受けている。2016年度は直接会いに行って、連絡が取れる状態にして個人ではなく組織と組織としてのつながりを持つ1年にしたい。そのあと交流会や地域で集まって行う活動は青少年ユネスコ活動助成を使うなど青年各自にゆだねるしかない。ブロック研究会に行く青年評議員と全青連の役員の交通費については2016年度にどのくらいの成果が出せるかによって協会連盟が必要と判断すればまたついてくるかもしれない。
- ・寄付金集めの努力は誰がするのか。
- 全青連役員、青年理事が主にやる予定で、青年評議員にもお手伝いいただくかもしれない。基本的には全青連の役員が評議員会の場でお話をさせてもらって地道に努力する。趣旨を理解し、賛同していただける方に応援していただけたら良いと思っている。
 - ◆ 本件は審議事項ではなく、継続してみなさにお話しさせてもらいたいなど思ってこのようにお話しさせていただいている。これからまだまだチームを作りネットワーク強化の活動を実際にしていくのでこの場でなくても色々なご意見をいただきたい。また、ぜひ一緒にやりたいという方も募集している。
- ・ネットワーク強化の大きな目的は、見えていない青年との繋がりをもつことがだと思っているが、予算削減された場合そこが弱くなることは本末転倒ではないか、ほかの手段やお金の使い方を考えるべきではないか。
- 見えていない青年というのは名簿上名前はあがるが活動の実態が見えていない青年のこと。実態把握自体は会いに行かなくてもできると思う。しかし、直接会いに行くためのお金が出せないなのでその部分が自助努力にゆだねられる。見えていない青年へのアプローチよりも波及効果のほうが弱くなる。現況報告に記載されていない青年会員へのフォローが難しくなるのではないかとと思っている。会員登録されていない人たちへの交通費補助は難しくなるのでは。
- ・自助努力というのが一番問題なのではないか。もっとそこを協会連盟へ訴えることはできないのか。全青連を助けてもらう仕組み作りをできないだろうか。

→ 本来は協会連盟の事務局が会員の情報や活動の実態を把握すべきだと私個人は思っている。それを肩代わりしている部分もあるのではないかと思うので、もっと連携してうまくやれることがあれば調整していきたい。

◆ (青年理事から補足) 2016年度だけの事業として提案することを理事としてサポートしているのには理由がある。これを青年がするのが当たり前になるのはおかしいと思っている。本来は事務局の仕事なので、時限的な特別な措置として考えおり、理事としてサポートしていきたい。

次回3月12日の理事会で企画書を見てもらって審議してもらう予定。

・どうなったらネットワークが強化されたということなのかというゴールを見えるようにすべき。自助努力をみんながやりたくなるような仕組みを作ってほしい。目標のところの基盤づくりが限界なのはわかっているが、見通しや今回はこう、次年度はこうという、協会連盟としてこうしましょうというものがなければいけないと思う。

→ 基盤作りの件は助成金がない場合。仕組みづくりについては意見をもっと頂きたい。助成・寄付側に見せる目標と、青年に対して見せる目標は少し違うのかもしれない。実際にネットワーク強化されたらこんないいことあるよということをもう少し見せられたらいいと思う。

・助成金を出す立場では、あいまいな目標では助成しないと思う。立場や権限も全然違うと思うが、それぞれの立場に対して、具体的にどう動いたらいいか示した方がいいと思う。達成しそうなゴールを初年度作り、次年度につなげるべきでないか。ポイントとしてブロック研究会があると思うが、それぞれのブロック研究会のなかで少しでも青年が担当する時間を作って、そこに全青連が参加し、そのために助成金を申請するのが現実的なのは。立場や権限の違いを利用した方が思う。

→ 協会連盟へ提出した書類にはもっと詳しく書いているので希望者がいれば公開する。ブロック研究会についてはその通り。全ブロックの研究会に全青連運営メンバーは行く予定。全青連の説明をしたいとお願いしている。ブロックごとに実情が全然違って、ブロック研究会で青年の時間がもらえるかはそれぞれで違う。ブロック研究会に様々な青年が来られるようにしたい。それについてもみなさんと意見交換したい。

・ブロック研究会に青年が集まらない現状について協会連盟へ具体的な案を出した方が通りやすいのではないか。今度青年でこんなイベントをするので来てくださいという方がいいと思う。

→ 単純に協会連盟に言ってどうにかなる問題ではない。自分自身がブロック研究会に参加して意見などを書いた方がいいと思う。色んな人が意見を発信する立場になればいいと思う。

閉会

以上の議事要録について相違ありません
全国的青年連絡組織監事 石川さやか